



令和 6 年度 千葉県新型コロナウイルス等対策訓練

千葉県健康福祉部



国とのシナリオ連携による訓練

1. ポイント

- 水際 1 例目の患者と同じ便で帰国し、健康観察中だった方が有症化したとの想定で、当該患者の指定医療機関への搬送訓練及び、これを受けた県対策本部の運営訓練を実施
- 「初動期（海外発生の段階）」を想定した令和 5 年度訓練からシナリオを 1 段階すすめ、「対応期（B）の封じ込め対応」を訓練
- 政府訓練との連動したシナリオを用いることで、政府等の動きと連動した訓練を実施

2. 主な訓練の流れ

【国】 第 2 回政府対策本部会合 〔訓練開催11/29〕 ・全閣僚出席 ・水際（成田空港）での 1 例目の患者確認を受けて開催  ※第 1 回政府対策本部は海外発生を受けて開催済の想定	【国】 緊急連絡会議 〔訓練開催11/26〕  ・オンライン開催（赤澤大臣、各都道府県、国立感染症研究所等）	【県】 県内 1 例目発生・搬送 〔訓練開催11/12〕 会場：国際医療福祉大学 成田病院 参加：県庁、印旛保健所、感染症危機管理統括庁、成田空港検疫所 	【県】 第 3 回県対策本部 〔訓練開催11/20〕 ・知事（本部長）、部局長等出席  ・保健所設置市等、オブザーバー参加（web） ※第 1 回は海外発生時、第 2 回は水際 1 例目を受けて開催済の想定
--	---	--	---

訓練シナリオ（全体概要）



国の対応

【初動期】

- ・ X国での新型インフルエンザ発生を受け、**政府対策本部会合**を開催

【対応期 (B) 封じ込め対応：水際 1 例目】

- ・ X国から帰国した千葉県在住の日本人1人(A、症状あり)(同伴者1人(B、症状なし))が、空港検疫にて新型インフルエンザ感染の疑いがありPCR検査を実施。
- ・ 陽性となり、検疫法に基づき、隔離措置(成田赤十字病院)(同伴者Bについては、検疫法に基づき停留措置、成田赤十字病院へ移送)
- ・ 同便での帰国者1人(帰国者C)に、健康監視通知を発出
- ・ 水際の患者確認を受け**政府対策本部会合**を開催
- ・ 「国と都道府県との緊急連絡会議」を開催し総理指示等を共有

千葉県訓練

千葉県の対応

【初動期】

- ・ 政府対策本部設置後、直ちに千葉県新型インフルエンザ等対策本部を設置し、**第1回対策本部会議**を開催

【対応期 (B) 封じ込め対応：水際 1 例目】

- ・ A、Bと同便で帰国した千葉県在住の帰国者Cに対して、検疫所からの通知を受けて、健康観察等の処置を開始
- ・ 検疫での患者の確認を受け、**第2回対策本部会議**を開催

- ・ 「国と都道府県との緊急連絡会議」で千葉県の対応状況を報告

【対応期 (B) 封じ込め対応：県内 1 例目】

- ・ 帰国者Cが健康観察期間中に発症(発熱38℃、咳(+)、咽頭通(+))
- ・ 調整を経て、保健所が患者を病院へ移送、PCR用検体採取、入院
- ・ 県内発生を受け、**第3回対策本部会議**を開催し、封じ込め対応を確認

病院実動訓練について

1. 日時・会場

【日時】 令和6年11月12日(火) 13時～16時

【会場】 国際医療福祉大学成田病院(成田市)

2. 訓練の概要

(1) 院内対策本部による新型インフルエンザ疑い患者受入れ決定

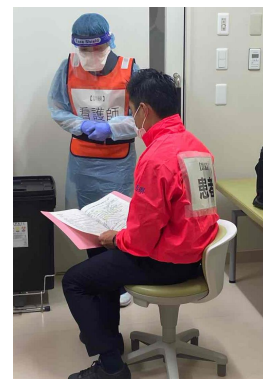


(2) 保健所の飛沫循環抑制車両※による患者搬送



※運転席と患者収容部分に仕切りを設置した車両(新型コロナウイルスを受けて装備)

(3) 診察・検体採取



院内の検査で季節性インフルエンザの陽性を確認→新型インフルエンザの可能性が高いと判断



検体は保健所が県衛生研究所へ搬送

(4) 感染症病床への入院・治療開始



対策本部訓練・緊急連絡会議訓練について

1. 日時

【県対策本部訓練】 令和6年11月20日(水) 15時～15時30分

【緊急連絡会議訓練(国)】 令和6年11月26日(火) 13時20分～13時45分

2. 緊急連絡会議訓練(国主催)

- 【想定】水際1例目の患者確認を受けて開催した政府対策本部会合の内容等を共有
- ・国(赤澤大臣 他)から総理指示、基本的対処方針等について説明
 - ・各県知事等から対応状況等について報告



【千葉県】

- ・政府訓練のシナリオに沿った形で、同便での帰国者に対する健康観察の実施や、初期封じ込めに係る対応状況を報告
- ・国際空港立地の立場から、封じ込めに係る国、他都道府県の協力を要請

3. 対策本部訓練

- ・県の実動訓練と合わせ、国内(県内)1例目の患者確認を受けて初期封じ込め対応の確認及び意思決定
- ・本部員(各部局長等)が対応状況を報告し確認
- ・本部長(知事)から、正確な情報発信など今後の対応について指示



【柏市】

【県庁】

【千葉市】

- ・保健所設置市、市長会、町村会、成田空港検疫所とWEB会議で繋ぎ、連携した対応を確認



【成田空港検疫所】

【市長会・町村会】

【船橋市】

振り返りと今後の訓練に向けて

1. 振り返り

【病院実動訓練】

○保健所と病院の連携、病院搬送後の院内での患者動線や、保健所への検体受け渡しの手順等、一連の患者搬送・受入れに必要な事項を準備及び本番を通じ詳細に検討することができた

○訓練で確認した患者搬送等の対応や、医療機関・保健所等関係機関との連携について、今後県庁の対応マニュアル等に反映させていきたい

【本部運営訓練・緊急連絡会議訓練】

○国や関係機関との迅速な情報共有の重要性を再認識。

○感染症危機対応に向け、平時、有事ともに市町村との連携を引き続き強化していく

2. 今後の訓練に向けて

○実動訓練については、県内の多様な地域性なども考慮して、開催地域（2次医療圏）を交代しつつ継続的に実施し、併せて各訓練によって得られた知見の全県的な共有を図る

○改定作業中の県行動計画を踏まえ、より感染拡大が進行したステージや多様な感染症危機事態を想定するなど、訓練シナリオの精緻化・多様化を図り、県や関係機関における対応能力の維持・向上につなげる



令和 6 年度 千葉県新型インフルエンザ等対策訓練

ご清聴ありがとうございました

